

大阪中華學校

學校通訊

9月号 第148号 2013年9月25日出版



快樂的暑假—暑期輔導班合影 (2013.8.23)

發行處 學校法人 大阪中華學校
〒556-0012 大阪市浪速区敷津東一丁目八の十三
TEL:(06) 6649-6849 (教職員室)・6649-3655 (校長室) FAX:6649-3654
[網頁 URL] <http://www.ocs.ed.jp/> [E-mail] ocs@ocs.ed.jp

學 校 行 事

十月

- (1) 10 月 1 日 運動會預演
- (2) 10 月 5 日 慶祝建國 102 年暨第 67 屆運動大會
- (3) 10 月 10 日 慶祝建國 102 年雙十國慶 休假
- (4) 10 月 11 日 運動會 補假
- (5) 10 月 14 日 體育日 休假
- (6) 10 月 21 日～25 日 中間考試週（照常上課）
- (7) 10 月 30 日 小六畢業旅行

十一月

- (1) 11 月 1 日 更換冬季制服、全校社會見學
- (2) 11 月 3 日 文化日 休假
- (3) 11 月 12 日 國父誕辰紀念日
- (4) 11 月 15 日 國語演講比賽（下午停課）
- (5) 11 月 16～17 日 2014 年度新生面試
- (6) 11 月 23 日 勤勞感謝日 休假
- (7) 11 月 27 日～29 日 第二學期期末大考



消 息

- (1) 台北駐大阪經濟文化辦事處新任處長蔡明耀先生於 9 月 20 日上午蒞臨本校視察。蔡處長首先聽取了陳校長的校務報告，隨後參觀了校園環境設施，瞭解學校營運現況及推動華語文教育情形。
- (2) 僑委會派遣巡迴文化教師陳士雄老師，於 9 月 17 日至 10 月 6 日蒞校教授舞獅及舞術等民俗技藝。在陳老師熱心指導下，同學們都能認真學習，成效顯著。



蔡處長（左一）蒞校視察，並
贈送敬師禮券（2013.9.20）



巡迴教師陳士雄老師熱心教授
舞獅（2013.9.19）

雙十國慶及全校運動大會通知

本校將於 10 月 5 日（星期六）上午 9 時在校內舉行運動大會。敬請各位來賓、校友、家長們踴躍出席，共襄盛舉，並請在當日上午 8 時 45 分前到校以便參加開幕式，謝謝。



2014 學年度新生入學案內

- * 十月一日起受理報名
- * 十月二十五日報名截止（郵寄亦可）
- * 十一月十六、十七日面接
- * 十一月二十二日合格發表

※ 2013 年 12 月 6 日以前繳納入學金。

2013 年 12 月 19 日量訂制服，辦理入學手續。
(變更時另行通知)

夏令營活動剪影

台中東海大學師生來校舉辦夏令營 (2013.7.23 – 25)



遊戲學華語



團體遊戲



團體遊戲



分組競賽



韻律操



帶動唱

暑期輔導班生活剪影

為了使同學能過個較充實的暑假生活，本校今年也舉辦了暑期輔導班，共有六十餘名同學參加。參加同學除了完成各班導師指派的暑假作業外，學校也安排了體育、唱遊、美勞、電腦、電影欣賞及社會見學等課程活動，在炎熱的夏日裡，度過了充實愉快的假期生活。



做燈籠－A 班



戶外活動－A 班



作品發表－A 班



心得發表－A 班



551 包子工廠見學－B 班



今昔館見學－B 班



遊戲學華語—B班



中央圖書館見學—B班



心得發表—B班



球類活動—C班



遊戲學華語—C班



剪紙—C班



心得發表—C班



做蔥油餅—C班

中國語班快樂學華語夏令營

(2013.7.30 ~ 8.3)



遊戲學華語



自我介紹



作品發表



同窓会開催のお知らせ

大阪中華学校卒業生の皆様
第一回目の同窓会を開催します
どうぞ奮って参加して下さい

◆
主催：(学) 大阪中華学校

日時：11月23日(土、祝)午後2:00

場所：大阪中華学校講堂(三階)

◆
会場を準備するため、出席の連絡を
メール、FAX等でお願いします。

同窓会設立準備室：ト永和

住所：大阪市中央区南船場4-6-10東和企業株式会社内

電話：06-6252-1313、ファックス：06-6252-1312

メール：koyukai_taiwan@yahoo.co.jp

H/P：http://blogs.yahoo.co.jp/koyukai_taiwan/



クラス幹事、連絡係の方

- | | | |
|----------------|--------|------|
| ・第12届(1962年卒業) | クラス幹事 | 胡 明信 |
| ・第18届(1968年卒業) | クラス連絡係 | 劉 京子 |
| ・第21届(1971年卒業) | クラス連絡係 | 王 孝壽 |
| ・第28届(1978年卒業) | クラス幹事 | ト 永和 |
| ・第35届(1985年卒業) | クラス連絡係 | 李 明聰 |
| ・第37届(1987年卒業) | クラス連絡係 | 楊 知美 |
| ・第40届(1990年卒業) | クラス連絡係 | 林 学謙 |
| ・第42届(1992年卒業) | クラス連絡係 | 楊 秋芬 |
| ・第43届(1993年卒業) | クラス連絡係 | 洪 政煉 |
| ・第44届(1994年卒業) | クラス連絡係 | 李 佑鑑 |
| ・第49届(1999年卒業) | クラス連絡係 | 陳 頴群 |
| ・第50届(2000年卒業) | クラス連絡係 | 清水寰宇 |

★各届のクラスの幹事、連絡係の方、ご連絡ください。 ト永和

暑假讀書心得報告

(一) 小四 李雨恩

書名：滿滿的祝福

作者：桃園市中山國小一年 10 班全體同學

出版日期：中華民國 100 年 6 月 24 日

大意：

這本書是我在台灣還沒來日本之前收到的禮物，全班做卡片，大家都用蠟筆畫得很好。畫完之後，老師把卡片一張張串在一起，變成一本書，讓我帶來日本。

感想：

我還沒來日本之前一直說：「我不會講日語，我不會說就不能去日本，反正我也不想去。」

後來，我的同學、老師和朋友，把卡片串在一起變成一本書，裡面寫滿了祝福及鼓勵我的話，送給我帶來日本。雖然我已經看了很多次，但是這本書還是我最喜歡的一本。

每當我不開心的時候，很想念台灣的朋友時，都會拿出來看一看，這樣我就會變得很開心，我要永遠的保存好這本書。

(二) 小五 江庭綱

書名：布萊梅音樂家

作者：許丁龍

出版社：風車圖書出版有限公司

出版日期：2009 年 5 月

大意：

布萊梅鎮上住著一位大鬍子先生，養了許多努力工作的動物。過了許多年，動物們都老了，不能工作了，大鬍子先生居然把他們趕出家門。

外面飄著雪，寒風呼呼的吹，毛驢、小狗、貓和公雞覺得又冷又餓。天黑了，大鬍子先生在暖和的房子裡面，桌上擺滿了許多好吃的東西。忽然，四隻動物在窗外同時怪叫了起來，他以為是強盜，嚇得趕緊逃出去。多麼暖和的房子呀！多麼好吃的食物呀！四個夥伴都很開心的享用起來。

半夜，大鬍子先生偷偷的回來了，想看看強盜離開了沒有。在一片漆黑的房子裡，他看見貓的綠眼睛，以為是妖怪，嚇得轉身就跑。他驚醒了正在睡覺的公雞，公雞抓破他的臉，他一疼又不小心踩到小狗的尾巴，被狠狠地咬了一口！經過院子時，他還被毛驢踢了一腳.....。

大鬍子非常害怕，嚇得再也不趕回家了。從此，毛驢、小狗、貓和公雞每天唱著快樂的歌，成為布萊梅鎮的音樂家。

感想：

這篇故事寓意十分深遠，布萊梅鎮的動物們很勤勞的為大鬍子先生工作，但是在動物們逐漸變老，失去能力工作後，大鬍子居然狠心的將他們趕出去，讓他們在寒冬中受餓受凍，最後才會遭到動物們的反擊，而落魄到無家可歸。

(三) 中一 柳川皓天

書名：海底兩萬里

作者：太偉

出版社：中國吉林出版社

出版日期：2010年10月10日

大意：

這本書寫的是作者領著讀者歷經了一次驚心動魄的海底旅遊。鸚鵡螺號飛快的航速，讓讀者隨著無摩船長的和他的客人們飽覽了海底變幻無窮的奇異景觀和各類生物。最遠的和最深的海溝，最大的珍珠，巨大的蜘蛛和章魚，還有駭聞的鯊魚，讓人目不暇接的同時還耳目一新。從海上怪獸出沒，弄得人心惶惶開始到鸚鵡螺號被大西洋旋渦吞噬為止。

感想：

我認為在科學技術造福人類的同時，應該重視防止被壞人所利用而危害人類自身的行為，並要保護海豹及已成稀有動物的海鯨等海洋生物。書中並提出譴責追捕濫殺的惡行，如果人類還不能覺醒仍然追捕濫殺，那以後的人就再也看不到這些海洋動物，只能從圖片裡了解這些動物了。原先能把天空都遮住的旅行鴿，現在已經絕滅了。

所以，我們人類是應該好好省思一番了，從現在開始，徹底做好保護地球上的大自然，不要讓這些海洋生物成為歷史上的過去，而只能在書本上看到的圖片了。

「ヘレン・ケラー」を読んで 小三 新井野 杏里

ヘレン・ケラーは、2才の時、重い病気にかかって、目と耳が不自由になりました。高い熱が出て、のうの中にある、見る、聞くことを感じる神経が、ぜんぜんはたらかなくなつたそうです。自分だけ見ることも聞くこともできないからイライラしてかんしゃくをおこして、あばれたり、わめいたりするのは分かる気がします。私もそんな気持ちになることが、よくあるからです。

ヘレンのお母さんは、ヘレンにしていいこと悪いことが分からぬから、きちんと教えないといけないと考えました。それでアニーサリバン先生をしょうかいしてもらいました。サリバン先生も、と中で目が見えなくなつたけど、手術をして見えるようになりました。それで人のために、役に立ちたいと考えていました。

サリバン先生は何も分からぬヘレンのために、一生けん命教えてあげました。大変だったと思います。はじめて「W A T E R」とヘレンが言った時には、言えるはずがないと思っていたのでびっくりしました。サリバン先生は、くり返し、くり返し練習をしたからだと思います。二人とも、ものすごくうれしかったと思います。

一つできたから、また次もがんばろうとど力することは、私もよくあります。でもヘレンは見ることもできないし、聞くこともできないので、体全体を使って覚えていきます。人より何ばいもど力をしたのだと思います。

ヘレンはゆうしゅうな成せきで大学をそつ業しました。本も書きました。こう演もたくさんしました。日本にも三回来ました。「人はみんな兄弟です。助け合って不幸な人々に生きる力を与えてください。」と話しました。

私は何回も読み返しました。できないと思っていることもあきらめないでど力すること、人間はだれもいつしょだから助け合うことの大切さが分かりました。困っている人がいたら「どうしましたか。手伝いましょうか。」と言いたいです。勇気がいるけど、言いたいです。この本を読んでヘレン・ケラーが大好きになりました。

「シロとのら犬たちの大震災」を読んで 小五 田中 美有

私が読んだ本は、「シロとのら犬たちの大震災」という本です。先生は、1995年1月17日、5時46分、兵庫県の淡路島北部を震源地とする「阪神・淡路大震災」の前後、何をしていましたか。この本は、そんな時に主人公のシロと友達ののら犬達が力を合わせ、共に辛い事を乗りこえていく「絆」の物語です。

この本を借りた理由は、大震災という言葉が目に飛び込んできたからです。本を手にとり、表紙に目をつけると、シロらしき犬が走っていて、背景には、がれきとなったマンションや電柱が描かれています。借りるかどうか迷ってしまったので、少し中を読んでみました。すると、ちょうどシロとのら犬達が、がんばって震災を乗りこえているところでした。少ししか読まなかつたのですが、とても感動したので、借りることにしました。読んでみて、とても感動しました。

物語は、1995年1月16日から始まります。その日は、シロの飼い主、五郎先生の誕生日です。シロは、大好きな五郎先生に、精一杯「おめでとう」と言いました。そして、いつものお散歩コースの神社に行き、のら犬の友達のキチと話していると、キチが気になる事を言い始めました。「おれ、今日中ににげるからな。おまえもにげるよ。」シロは言いました。「何でにげるんだい？」キチは、あきれたように、「あいかわらずにぶいやっしゃ。ここんとこ地面が動いとるやろ。寝ても落ち着かんやろ。夕焼けが気味の悪いほどきれいやろ。大地震やでこれは。」シロは、大地震の意味が分かっていないかったので、私は、説明してあげたかったし、犬は、すごくびんかんな事が分かりました。

翌日の1995年1月16日。その日の早朝、悲げきの始まりです。シロたちが住んでいるマンション、サンシャイン21が急にゆれ始め、シロは、がれきの下じきになってしましました。体が思うように動かせず、声も出なくて、救助を求める事ができなくなってしまっていたシロに、私は、もし一部でも動かすことができたら、私はこうしていたな。でもシロは犬だから、できないかも知れない。そう思いながら、悲しい気持ちで見ていました。その後、レスキュー隊や救助車が来ても、シロは見つけられることもなく、私はもう泣きそうな気持ちでした。すると、キチたちが心配してサンシャイン21の下に来てくれたので、シロは見つけられることができました。私はとても安心し、「絆」の瞬間だと思いました。

キチたちは、シロの飼い主の五郎先生を探すため、長い長い旅に出ました。始めは、と中で会って一緒に旅をしたのですが、目の前で死んでしまった犬の仲間がいたり、えさがなかったり、だんろによらせてもらえないなったりしました。私は、泣きそうな気持ちでした。気づくと、本は後少しになっていて、この物語にも、終わりが近づいていました。シロたちは、「五郎先生は、もう見つからないかもしれない。」とあきらめていたと思います。最後にシロたちは、サンシャイン21を見に行くことにしました。と中で雨が降ってきて、あきらめずに。そして、サンシャイン21の前に着くと、何と五郎先生が立っていたので、私は、良かったという気持ちと、泣きそうな気持ちが止まらなくなっていました。

<読書感想文>

中三 小林寿里

題名：くもの糸

作者：芥川龍之介

ある日、釈迦様が散歩をしていると地獄でカンダタという男を見つけました。カンダタは生きている内にかなりの数の悪業を働いたので地獄に行くことになりました

でも、カンダタは一度だけ良い事をしました。それはある日、森の中を歩いていて一匹のくもを見かけたときの事です。カンダタはこのくもを見るなり、すぐに殺そうとしました。でも、彼は「やっぱり蜘蛛も生きているから殺すのはやめよう。」と殺すのはやめました。

それを知っていた釈迦様はカンダタを助けてやろうと一本のくもの糸と地獄にたらしました。するとそれに気付いたカンダタはよじ登っていました。もう少しというところでカンダタは少し疲れたので休みながら下を見ると、下からはすごい数の人がよじ登っていました。それに驚いたカンダタが下の人達を落とそうと糸をゆらしたら、糸が切れてしまい、カンダタも地獄の底へ落ちていきました。

感想：僕は、カンダタがくもを殺そうとしたのにやめたことは、とても良い事だと思いました。生物の命を考えることは大事な事だからです。だから、カンダタ

は本当に良い事をしたと思います。

でも、カンダタが糸をゆらしてしまったのは本当に残念な事だと思います。どうせなら皆で登ればいいのに糸をゆらしたからです。もし一人だけ登れてもどうせ一人ぼっちですが、皆で登れば仲良くなれるかもしれないからです。

<読書感想文>

中二 孔海琳

私は、「旅する絵描き・パリからの手紙」を読んだ。題名と同じく、手紙という形式で私たちに語りかける。

パリで「僕」を引きつけ、呼び止め、足を止めさせたのは窓、いや、窓ではない、窓ガラスの向こうの本だった。そこは本の修復や装飾をする工房で、職人のルリュールじいさんと出会った。これが物語の始まりだ。「僕」はルリュールじいさんと知り合い、別の空気を持った「僕」の知らない世界へと入っていく。じいさんが作業の場を見せてくれた。そして散歩に誘われた。ノートルダム寺院の鐘が鳴り響き、そび立つ一本の古木のイヌアカシア、また、古い小さな教会を指しておじさんは「父の工房だった所だ」とつぶやいた。「僕」は十二世紀のノートルダム寺院、四百年の木、三代続いた仕事に圧倒された。「僕」なんかなんでもない小さな点だと「僕」が思った。

作者が自分が点だと思ったのは自分を長いトキと比べたのではないか。何百年も何千年を単位としたら人の一生は確かに点だ。線となるのは長いトキをいきてきたもの、あるいは存在できたものだと思う。本の修理をするルリュールじいさんは画家の「僕」と似ているかもしれない。修理人は壊れた作品を直し、次へと擊ぐ。画家は作品を世に残す。似ているからひかれるのかもしれない。

また、作者は最後に「ああ、夜が明けそうだ。この続きをまたすぐに書こう。」と述べている。物語はまだまだ続くのだろう。



暑期
讀書心得
報告

暑假真快樂 小二

(一) 和海豚游泳 武南壯悟

假日爸爸媽媽帶我去海邊的公園體驗和海豚游泳。

到了公園，我看到大水池裡有三隻海豚。我和爸爸換上泳衣，來到水池邊。我們餵海豚吃魚，海豚還會開心的和我們握手，後來我們跳下水握著海豚的鰭，海豚就帶著我們游來游去。騎在海豚身上感覺很有趣，希望大家也去體驗一下。

(二) 琵琶湖之旅 侯偉強

七月二十八日我們一家人去琵琶湖邊烤肉。吃完午餐後，我們換上游泳褲，帶上救生圈到湖邊游泳。

今天天氣很熱，到湖裡很清涼，爸爸告訴我們不能超過胸前的水位。我們在水裡玩了兩個小時後去打西瓜，我矇上眼睛，手裡拿著水果刀用力砍下去，西瓜裂開了。

這一天我玩得很開心！

(三) 公園 郭子晴

我每天去學校一定經過一個不小的公園，放假後爺爺奶奶常帶我去玩。公園有很多小動物，螞蟻排著隊找食物，小蟲吃著樹上的梨子，還有很多蟬在上頭，吱吱聲的合唱歌，真好聽！我玩得好開心！

(四) 鋼琴日記 羅之遙

回到台灣，媽媽在外婆家附近的音樂教室找了一位老師為我上鋼琴課。

上第一堂課，就覺得蘇老師教得真好！教我樂譜上的強弱彈奏技巧，也教我手指觸鍵的方法。蘇老師還送我樂理作業本和音符卡，加強識譜能力。

上完四堂課，發現自己進步許多，彈出來的音色更好聽，謝謝蘇老師用心的指導。

(五) 戶外教學 野村宏佑

今天台灣的安親班戶外教學，一大早就興奮得不得了，在八點五十分老師集合隊伍，我們就快樂的出發了。

踏著輕快的腳步，我們走到公車站，搭公車到中壢再轉公車到大江百貨公司看早場的電影，電影的名字是渦輪方程式。十二點半看完，我們跟著老師去美食區點餐大吃一頓後，去書店看書，直到下午三點才搭車回到安親班，結束一天快樂又好玩的戶外教學。

東京旅行 小三 宮川航輔

八月十一日星期日，我一大早五點鐘就起床了，我和爸爸媽媽搭乘新幹線前往岐阜縣採葡萄。

到了之後，我們吃了很多的水果，改搭乘巴士前往富士山。去富士山的途中，經過了音樂道路，由車輪傳來了一陣陣美妙的音樂，真是好玩！在富士山上，我寄了一張明信片給我的好朋友，然後吃了一個很難吃的富士山麵包，就前往石川溫泉。

當天晚上我們去笛吹川看鵜飼捕香魚，看放煙火。這是我第一次參加煙火大會，好大的火花在我眼前爆開，真是又好玩又可怕。回到飯店後，又看了中國雜技團的

表演，還有在飯店門口也放了小型的煙火，今天真是很充實的一天。

八月十二日星期一，我們前往迪士尼樂園。有很多人來迪士尼樂園玩，所以，每一個主題都有很多很多的人在排隊。為了要玩印地安主題，我們排隊排了三個小時多。因此就沒有時間再玩玩具總動員主題了。

後來我們參加了噴水遊行，我和爸爸媽媽全身都被淋濕了。但是當天的氣溫高達四十二度，所以被水淋濕後感到特別涼爽。

中午，我們在好大好大的船裡面用餐，這是一家非常高級的餐廳，而且在船上就可以看到米老鼠和唐老鴨的表演，真是非常有趣的餐廳。

下次我一定還要來迪士尼樂園玩！

暑假中的生活感想 小六 黃晨皓

暑假中我最期待的是和家人出去玩的快樂時光。

記得爸爸在外辛苦的工作一回到家，隔天就帶我們去很多地方玩，廣島、鳥取、秋田、東京等很多地方都有我們的足跡。我們在各地吃了很多好吃的東西，也買了不少當地名產。

其中令我印象最深刻的是廣島，因為廣島以前是軍事重地，後來被美國丟下原子彈，原子彈爆炸區就在就在市中心的 T 字型的橋上，被爆的廣島一瞬間化為平地，只剩下幾棟建築物。死亡人數高達十四萬人，戰後更有很多人得了白血病而死。在和平館裡，並看到了許多慘不忍睹的照片，有的人的皮膚被炸得像水一樣淌著。還有一個人手上的手錶正指著早上八點十五分，正是原子弹爆炸的那瞬間。

媽媽說留下來的幾棟殘骸已被列入為戰後世界遺產，目的就是要警惕世人，不要再有戰爭，要和平共處。因為參觀廣島原爆館後，我開始喜歡上日本的歷史了。

母愛的偉大 中二 盧秋一

母愛是什麼呢？我給不出正確的定義，我只知道打從出生之前，她就急切地等待著我；在我成長中呵護著我，母親的愛深深的滲入了我每個毛孔，直至耗盡，而我卻很晚才懂得。

在我印象中，母親是個大美人，她笑起來時有一個甜甜的酒窩，可是因為工作的緣故，我與母親也漸漸疏遠了。

記得去年寒假，我提著一個行李箱，慢慢的走出了飛機場，左顧右盼下，我終於發現了母親的身影，她穿了一身厚厚的皮衣，一副歷練的女強人模樣，可能剛從公司趕來吧，與我說話的語氣中帶著一絲疲憊。

脫口說一聲「累了」，我靠在座位上假寐，心裡卻盤算著，自己剛來到這片陌生的土地，聽著人們說陌生的語言，不由得興起幾分不安。生活作息也不同往常，看來這段「千里探母」假期，還真有點難熬，不自覺的輕皺了一下眉。迷糊中似乎有人不斷輕撫我的眉眼，也讓我原來焦慮不安的心，漸漸趨於平靜。

寒假就要過去了，在這期間，母親將出遊行程安排得滿滿的，為此還推掉了許多

生意，我有些過意不去，腦海裡閃過零星的畫面。母親卻總是勸我放下心好好的玩，聽了母親的話，我有些釋懷了，也放開了心，隨之也沒有節制的買了好多日本的特產。

這是最後一晚了，母親收拾著行李說：「秋一，你不知道你在我身邊的時候，我睡得可踏實呢！現在你要走了…。」

這句話像似對著我說也似對她自己說，聲音有些低沉，不是很真切。看著母親在燈光下，那略顯單薄的身影，有著她提筆在禮品單上寫下一個個飄逸的字體，感覺說不出的酸苦。

第二天一早，母親就開始在我耳邊叮嚀，路上要小心，到奶奶家後要記得打電話回家。媽媽妳都已經不知道說過多少遍了，我撇了撇嘴，真是的，還是把我當成小孩子一樣看待啊！可是心裡卻是甜甜的。

在機場外，我轉身扭頭看向母親，陽光下，厚厚的皮衣將母親的身子襯得更加嬌小了，眼睛裡有著淡淡的血絲，母親昨天沒有睡飽吧！我不禁有些生氣，她為何不好好愛護自己呢！可話到嘴邊，卻只道出了三個字「媽，再見！」

母親看著我，風兒徐徐的撩起了她棕色的長髮。直到現在，我還記得，那時她的笑容是那麼慈祥，她那溫柔的臉龐，像晚霞一般溫暖嫣紅。可不知為什麼？我卻覺得母親的眼睛裡藏著深深的落寞。忽地，我想起了母親凌晨起床工作的時候；深夜為我打包行李的時候；臨行前再三叮囑的時候…。我略為哽咽地呢喃，向母親揮了揮手，硬是將淚水逼入眼眶。

母愛是最偉大的情感，有如春天的甘霖，悄無聲息地灑落在我們的心田，她像一條長河恬靜，泛著微微的浪花。或許，我從今天起回報母親還不晚吧！

後記，秋一已於今年春天來日本，和母親團圓，目前就讀於大阪中華學校中學部。



李惠芳老師熱心教授民族舞蹈

小一 提早寫作



9 18. 1. 2. 3.

3. 2. 1.



在	在	在
无	西	車
上	子	在
的	的	的
下	下	：
面	面	面
有	有	有
西	天	西
上	云	：
一	一	一

125
四百六十五

9 18. 1. 2. 3.

3. 2. 1.



在	在	在
木	居	車
反	的	在
的	下	：
上	面	下
面	有	面
有	一	有
一	個	一
去	水	去
反	去	去

125
四百六十五

9 18. 1. 2. 3.

3. 2. 1.



在	在	在
本	多	叻
子	义	心
的	的	的
上	下	：
面	面	面
有	有	有
一	一	一
個	本	個
一	本	一
子	子	。

104
堆瓦多美石

9 18. 1. 2. 3.

3. 2. 1.



在	在	在
小	魚	車
魚	的	：
的	下	下
上	面	面
面	有	面
有	一	有
一	個	一
一	久	家
久	門	。

126
佐久門宇大



絵日記 小一 船井皓貴

8月18日（日）

こんちゅうかんにいきました「ちょうのおんしつ」にいきました。

いっぱいいちょうちよがとんでいました。あげはちょうもとんでいたし、もんしろちょうもとんでいました。ちょうちよは、とてもきれいでした。こんちゅうかんは、2年前にえんそくでいきましたが、ぼくはほとんどおぼえていません。それでもたのしかったです。



絵日記 小二 高田零

8月5日（月）天気くもり・あめ

きょうはアドベンチャーワールドにいきました。

ペンギンやアシカを見ました。そしてイルカショーも見ました。イルカショーのナイトショーも見ました。

スタンプもあつめてシールをもらいました。スプラッシュでなんどもずぶぬれになりました。とてもたのしかったです。またいきたいと思います。

夏休みで一番嬉しかったこと 中一 古川美宇

私は、自転車に乗れなかった。けがをするのが怖いし、必要ないと思っていた。親には、小学生の頃から「早く乗れるようになりなさい。美宇だけじょ。恥ずかしくないの？」て言っていたけれど、「恥ずかしい」という気持ちはなかった。だか、乗ってみたいとは何度も思った。しかし、けがのことを考えるとやる気がでなかった。

今年の夏、親に「夏休み中にできるようになりなさい。」と強く言われ、練習に行くことになった。姉は「練習に付きあってあげて。乗れたらおこづかいあげるから。」と言われ、練習に付き合ってくれた。

姉が自転者の後ろを支えてくれ、私はサドルをつかみペダルを足でこいだ。姉からは、「サドルはあまり力を使わずにつかむ。下を向かずに遠くを見る。」というアドバイスをもらった。途中、母も付き合ってくれたが、あまり変化がなかった。

そんな時、ランニングをしているおばさんが「ペダルを踏まず、両足を広げ、誰も支えず坂からおりてくると、いつの間にかペダルを踏んでこげるようになる。」というアドバイスをくれ、それを何度も何度もやった。

何日か過ぎると、乗れるようになっていた。

それからすぐに母と一緒に自転車屋に行った。車体は緑色と黄色、タイヤは黄色、とても目立つ自転車を買ってもらった。

その自転車に慣れるために、一度練習を行った。「まあまあ順調だな。」と気を抜いた瞬間、ドンと看板みたいなものにぶつかり、かごがへこんでしまった。ああ・・・・、新しいのに・・・・。

それからその自転車をすごく愛用している。

母が練習の付き添いに来るようになってから、姉はハトや蝉とけんかばかりしていて、「来た意味がないじゃん。」とか思っていたけれど、姉にはすごく感謝している。姉のアドバイスは本当に役に立った。

それから、あのおばさんに会うことはなかったが、「自転車に乗れるようになったよ。おばさん、ありがとう！」って伝えたかった。

今になって、自転車に乗れなかった自分を恥ずかしく思っている。

私の十年後 小六 林 采妮

私の十年後、最も理想としているのは皮膚科の先生か翻訳の仕事に付くことです。

今の私は、英語の勉強を頑張っています。その英語が話せるようになると、英語、日本語、中国語が話せるということです。翻訳の仕事がいいと思ったきっかけは母にすすめられたからです。そう言わされた時は、無理だろうなあと思っていましたが、後で考えると三か国語を話す仕事ってとても意味のある仕事だなあと思えるようになりました、将来の夢の一つになりました。

皮膚科の先生になりたいという夢は小さい頃からありました。なぜなりたいの

かというと、テレビのCMでニキビやそばかすのある人を見て、やっぱり皮膚はきれいな方がいいと思ったからです。

私は今から、未来へつなぐ一歩を少しづつ積み重ねて、未来の私が幸せに過ごせるようにがんばります。

「夏休みの出来事」 4年 船井 徳佳

夏休みはだいたい日曜日に遊びに行きます。日曜日は、ふだんおるすばんしている時のごほうびに、ほしい物を買ってくれています。月曜日から金曜日は、弟と一緒におるすばんしています。

朝起きて、朝食を食べてから、宿題をします。とても多いので大変です。昼に自分たちで、のりとご飯を使って、のり巻きを作ります。自分たちで作ったのり巻きは、おいしいです。夕方に、習い事に行って、夜に、お母さんが帰ってきます。ばんご飯は、お母さんと弟と一緒に食べます。お父さんは、夜おそらく帰ってきます。だけど、平日毎日お父さんとお母さんが仕事をしていることもありません。休みの時もあります。明日はお父さんがお盆休みで、四日間お休みです。とても楽しみです。

お父さんとお母さんがお仕事の時も、たまには、おばあちゃんのお家に行きます。おばあちゃんは、家事でいそがしく、毎日くるくると家事をしています。だから私は、おばあちゃんのお手伝いをします。よくするのが、モップでお掃除です。お掃除が終わったら、少し休みます。十二時ごろにご飯を食べます。おばあちゃんが、がんばって作ったご飯は、とてもおいしいです。おばあちゃんのお家の中で、最も好きなのがグランドピアノです。木ででき正在、音もひびきます。おばあちゃんのお家に行く時は、楽ふを持って行きます。

私は、がんばりやさんのお父さんとお母さんがいて、幸せだと思います。やさしい家族がいて、とてもうれしいです。今度の日曜日に、また遊びに行きたいです。

